八碁連だより

8月号　第２６４号

発行日　平成２５年８月１日（木）
発行所　八王子囲碁連盟
住　所　八王子市南陽台３－３－３
電　話　０４２－６７６－９８８８
発行者　信江　峻
編集者　山縣　文雄

富士森公園「平和の像」（台町）

http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/hachigoren

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

私の碁

中野囲碁同好会副会長　濱中　武夫

碁と全く無縁の環境に育った私が碁を初めて目にしたのが戦後の混乱がまだ残る昭和21年の当時10才の時であった。

終戦により空襲などによる直接の生命の危険は無くなったものの食料難のため餓死者の新聞記事もみることがあった。

予告なしの停電は毎日あり映画館で上映中に突然停電になり映写が中断されても観客は懐中電灯の薄暗い館内のなかで辛抱強くあてのない送電再開を待つような状況であった。

私にとっては、平和がきたよ、とは言えても経済は極度に混乱し漠然とした不安な時であった。

そんな暑い夏の日の午後唯一の楽しみであった近くの川に釣りにいく途中大きな農家の南庭に面した涼しげな座敷で老人二人が碁を打っている姿が楽しげで平和で別世界のように目に映った。

子供心に、いつか、あの二人のように何の憂いもなく碁を打てるようになりたいと思ったのであるが，その後碁に接する機会がなく碁を覚えたのはそれから十数年も経ってであった。

高校時代の友人が碁を始めたのを聞いて強引に仲間に入れてもらい、全くの初歩からのスタートでした。

始めてみると優雅どころの話ではなく大石を取られての屈辱を毎日味わうこととなった。

そんなある日、碁とは調和を追求して調和を破ることだ、という一文を目にした。そうか、このような気持ちで打てば、楽しく優雅な時間を過ごせるのかと思ったが、いざ、碁盤に向かうと頭に血がのぼりトッタ、トラレタのトリ碁となるのが常だった。

その後暫くして、「晴耕雨読ではなく、晴耕雨棋」の人生を送りたいと言う言葉を耳にし、成程これが子供の時目にした優雅な老人の心境だと納得し、よし私もと碁盤に向かうと依然として、勝てば嬉しい、負ければ

悔しい悪戦苦闘の喧嘩碁となるしまつであった。
ある日勝ったと思った碁を落とし情けない気持ちでボンヤリしていると突然女房に「あなたは、いいわね、碁に楽しそうにでかけて、碁ってそんなに楽しいの」と言われギョッとした。そうか俺も女房からみればノンビリ碁を楽しんでいるのである。もしかするとあの時の老人二人は深刻な場面であったのかもしれない。
すると私も人からみれば碁を楽しみ平穏な人生を過ごしている唯の老人にすぎないと思った。
であるなら、せめて碁は負けても悔いの無いよう全力を尽くし、若々しい気持ちで打とうと決意して碁盤に向かうのであるが、現実はボヤキボヤキの悔いだらけの碁になるのである。
それでも碁は面白い。
そして、止められない。
碁には人を引きつけて離さない魔力のようなものがある。
これが、私の碁である。

第２３回　活きいき囲碁大会のご案内

由木大会

日時　　平成２５年９月１日（日）受付　午前９時00分～９時30分
会場　　由木中央市民センター（下柚木2-10-6　Tel　676-8123）
申込先　　信江　峻　南陽台3-3-3　Tel・Fax　676-9888
メール　t-nobue@mxz.mesh.ne.jp
申込期限　８月１８日
主催　　由木囲碁同好会

北野大会

日時　　平成２５年９月１５日（日）受付　午前９時00分～９時30分
会場　　北野市民センター（北野町545-3　きたのタウンビル７階　Tel　643-0440）
申込先　　会長代理・笠原昭治　打越町345-2-1-206　Tel・Fax　644-5723
メール　ka_shoji1933@ezweb.ne.jp
申込期限　９月１日
主催　　北野囲碁同好会

両大会とも　後援　　日本棋院　八王子市　八王子市教育委員会
参加資格　市内に居住している10級以上の囲碁愛好者
参加費　　１，０００円（弁当代を含む）非会員　１，１００円
競技方法　クラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込方法　同好会の会長または代理がまとめて申し込んでください。

第２３回　活きいき囲碁大会の結果

浅川　　６月３０日(日)　於横山南市民センター

参加者

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	非会員	合計
３０	７	２	２	４	１	２	７	７	２	１	６５

A組　２１名（5段～7段）

優勝：松本健彦　石川/６段　　準優勝：山本数英　川口/６段　　3位：高索信幸　浅川/６段

注：松本健彦６段　優勝１回

B組　２２名（2段～4段）

優勝：尾池秀夫　浅川/４段→５段　　準優勝：中村千秋　浅川/３段　3位：網野修助　浅川/３段

C組　２２名（5級～2段）

優勝：甲斐正憲　北野/２級→１級　　準優勝：一条幸吉　北野/初段　3位：根本　清　大和田/２段

大和田　　７月７日(日)　於大和田市民センター

参加者

大和田	浅川	恩方	中野	石川	台町	北野	長房	川口	非会員	合計
１８	８	３	５	６	２	８	４	６	１	６１

A組　１８名（4段～7段）

優勝：金本好正　石川/７段　　準優勝：鈴木浩治　大和田/６段　　3位：青山　格　大和田/４段

注：金本好正　7段での優勝１回

B組　２２名（2段～4段）

優勝：山崎　満　大和田/３段→４段　　準優勝：中村　靖　中野/３段　3位：舘野内　茂　北野/４段

C組　２１名（5級～初段）

優勝：荒畑昭一　川口/３級→２級　準優勝：福島きみよ　石川/２級　3位　：仲渡英生　石川/３級

石川　　７月２１日(日)　於 石川市民センター

参加者

石川	浅川	恩方	中野	大和田	北野	長房	川口	非会員	計
２２	７	４	５	７	８	２	４	３	６２

A組　２２名（5段～7段）

優勝：柳豊太郎　非会員/７段　　準優勝：水野義嗣 石川/５段　3位：松谷春夫 非会員/７段

B組　２２名（2段～4段）

優勝：平松 隆治 石川/３段→４段　　準優勝：田村 強/４段　3位：名取進 長房/４段

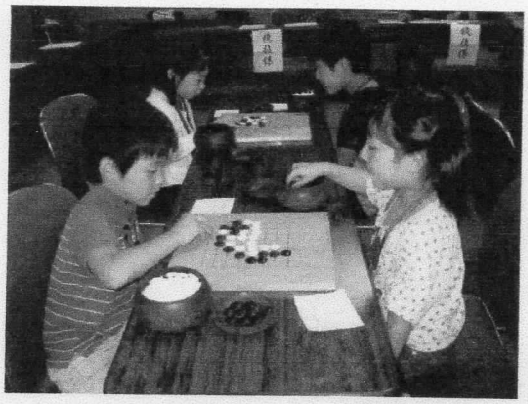
C組　１８名（5級～2段）

優勝：芦沢 靖彦 長房/初段→２段　　準優勝：藤井定雄 石川/５級　3位：川口洋 大和田/初段

第2回　八王子市子ども囲碁大会の結果

第2回八王子市子ども囲碁大会が、6月２９日(土)、八王子市教育委員会生涯スポーツ部長　天野克己氏、東浅川保健福祉センター館長　竹内恵子氏をお迎えして東浅川保健福祉センターで行われました。

参加者は３２人で、昨年の２４人よりやや増えました。



成績　午前の部　９路盤　ハンディなし

総当たり　　参加４人

３勝　藤川獅琉（第１０小１年）

１３路盤　ハンディ戦、参加１５人

３勝　ＳＯ　３級（Ｈ　小５年）、

田邊永遠２２級（横川中１年）

午後の部　１９路盤　ハンディ戦　参加１３人

３勝　坂本絹太郎５級(横川中２年)、

瀬下裕麻５級（横川中２年）

◎青少年囲碁指導者の募集について

八碁連活性化実行委員(子ども教育担当)　　廣島　松治

日本の伝統文化の一つである囲碁を通して、幼児・小・中学生と触れ合うことにより、楽しみながら礼儀・作法を身に着け、ひいては、子どもの健全育成、高齢者の生きがい対策にもつなげて行こうとの趣旨で、昨年来、八碁連として、青少年の囲碁愛好者育成を重要課題として取組むという方針を打ち出しました。これを受けて平成２５年度八碁連定例総会において「地区同好会における青少年の育成指導について(1)各地区同好会に青少年育成指導員を置き、入門者への指導を行なう。(2)地区同好会の青少年育成指導者講習会を開催する。」との決定をみております。

現在、既に囲碁指導者として児童館・学童保育所・小中学校等で活動されている方もおられます。その方からも「囲碁を教えてほしいという依頼があった場合、即座に対応できるような指導者の組織作りをしてほしい。」という要望もあります。

このことから、このたび「八王子囲碁連盟青少年囲碁指導者連絡会」を設置することになりました。是非、この趣意に賛同し、多くの方の参加をお願いする次第です。

具体的な活動として、(1)東浅川保健福祉センターで行う子ども囲碁教室、(2)各地区囲碁同好会が市民センターで行う地域の子ども囲碁教室、(3)地域の小・中学校・児童館などでの囲碁教室へ出かけて教えて頂くことになります。また、応募された方々には、具体的にどのように教えるかの講習会も開く予定です。

なお、各地区会長様宛には、この旨を記した趣意書(登録書)をすでに送付してありますのでご支援、ご協力をお願いする次第です。

8月の活きいき囲碁大会（7月号掲載）

台町大会　　8月18日(日)　申し込み8月4日(日)まで

お願い　去る7月7日（日）開催の活きいき大和田大会の際、履物を間違えて帰られた方が居られます。

サイズは２６ｃｍ赤茶色の短靴です。お心あたりの方はご連絡下さい。

連絡先　大和田同好会会長　井出道明　電話　０４２－６４４－７４１７

投稿

人間模様

浅川囲碁同好会　　池田　悟

人類の創出を考える時、歴史を繙く事は大切である。八碁連の会報に今一度投稿したく「人間模様」と題して書いてみた。自分でも漠然としたもので、他人様がもっと理解しにくいものだろう。そんな無責任なと思われる方もおるだろう。私の甘さがそうさせているのは拒めない。人類は何億年に遡る訳ですが、そんな荒野の中で凶悪な大動物と闘い乍ら進歩を重ねてきた訳で実に偉大である。

先ず文字を作り皆が話し合い助け合い乍ら食を得る。やがて耕地によって食を調達し近代化へ進んだのだろう。そして長い年月を経て恵まれた住みよい場所を開拓した。時は流れ過酷な競争社会を招き寸暇を惜しんで働かざるを得なくなった。そのギャップを埋めるため芸術を文学を宗教、スポーツを共有する。専門家でも多くの意見があり、私ごときには収拾出来ないので、本題に入りたい。

５月５日、野球の殿堂の地である東京ドーム後楽園球場へ行くチャンスを得たので、次男に付き添われて会場へ。誌上を賑わせた国民栄誉賞の授賞式、日本の野球界に大きな貢献と実績を刻まれた、長島茂雄、松井秀喜両氏とあって会場は超満員。華やかさと言うよりも厳粛さを覚えた。やがて会場へお二人が現れると鳴り止まぬ万雷の拍手、感動の一日でした。

時、暫くして野球界に持ち上がった野球ボールの件、この辺の状況は省略して問題に対応のコミッショナー側も、オーナー側も万全を果たさず。選手の動揺を恐れての事とは思うが残念である。まだ球界にはこのような開放されない一面があるのは嘆かわしい事でもある。

ボクシングや他の競技にも同様な面があるのかと考えさせられる。その責任の取り方が多くの場合、今後はこのような事が二度と起こらぬよう万全を期したいが日本社会の通例で、改善出来ない大きな要因でないのか。

５月１日と２日、震災後東北六県で鎮魂のための合同の祭りが昨年から始まり、今年は福島で開催されその東北六魂祭に行って来た。

１日は郡山市、２日は福島市とそれぞれのメーン行事があり、沿道は人人人の波で賑わった。六県から各々花笠音頭、ネブタ、竿灯まつり、七夕、さんさ踊り、わらじ祭り、はたまたブラジルからサンバ、ディズニ

ーランドからミッキーマウス等賛助出演があり、沿道が埋めつくされた。

帰途、災害地の現状を知ろうと思い乍らも日程の都合で成し得なかった。復旧の実態は未だしと見られており復旧が進んでこそ六魂祭の意義が高められるであろう。

二、三十年前と思うが代々木の国立競技場でかって陸上界を席巻したカール・ルイスという名選手がおり、この大会で百メートルとリレー、走り幅跳びに出場したと思う。スタート台に選手が並びスタートする瞬間までグランドは水を打ったような静けさであった。グランドと選手、ファンが一体化した見事な出来事であった。

このところ、将棋と囲碁会に変動が起こっている。将棋界で常勝を誇った羽生氏と囲碁界の新星井山裕太、フアンの関心も高く世界に通用するようだ。７月７日から国技の大相撲が始まる。早く日本人の横綱誕生を願っているが期待したい。

２０１３年７月８日の新聞紙上に俳優松田由紀さんの記事が掲載されていた。題して「核なき世界へ政治の未来図描こうよ」一部割愛するが紹介したい。「私も俳優なので政治的発言をしていいか最初は迷いました。私は俳優である前に母だと強く感じた。未来の子供たちのために生きていく場所を残さないと、それが大人の役割だと思う。」（中略）

戦争反対核反対って表だって言えないが声に出さなくとも心の底では思っている人は多いですよね。思う人、声を上げる人が一人でも増えたら社会は変わると思う。

先日の東京都議選でも投票率４６％程度、考えさせられますね。　（聞き手・宮崎園子）

平成２５年前半を川柳で振り返る

北野囲碁同好会　　安原　明

光陰矢の如し。年のせいか早くも半年が経ちました。政府はアベノミクスによりインフレ２パーセントを達成しようと懸命です。われわれ年金生活者は生活必需物資が値上がりするのは困りますが、雇用の確保や生活保護世帯の増加を防ぐためには仕方がないのでしょうか。日記代わりに作っている川柳をご一読下さい。

１月　良き年となるを信じて賀状読む
　　鰻下り絶滅危惧種と指定され（日本ウナギ）

２月　隕石が原発襲う春の夢
　　核実験ウラン無尽の国と言う（北朝鮮）

３月　街霞む黄砂の故かＰＭか
　　米国に米の譲歩を要求し（ＴＰＰ）

４月　鯉たちがメタボに見えし水温む
　　手術してエレベーターの位置分かり（電車通院）

５月　日銀はオセロゲームか様変わり（白川から黒田総裁）
　　傘寿でもヒマラヤ目指すたくましさ（三浦雄一郎氏）

６月　恋人を連れてフランス大統領
　　イの次はロハニ師イラン大統領

ああ７９才、終戦記念日の夢

北野囲碁同好会　　刀根　正樹

『終戦日　今かみしめる　母の愛』

不気味な川の夢を見た。終戦記念日の夜であった。国破れて山河がひろがっていた。空も大地も、山も田畑も戦火の灰におおわれて、その中央を濃紺の小川がゆるやかに流れていた。川べりの農家に人が集い、ラジオに耳を傾けていた。『耐えがたきを耐え、しのびがたきをしのび』その沈痛な声は昭和天皇の玉音放送であった。誰かが叫んだ。『日本は敗けた。これから地獄の門が開くぞ。女は犯され、男も子供も殺される』人々は皆、声をあげて泣いた。

私は小川のほとりに腰をおろした。水は暗くにごり、人骨がただよい、川底は見えなかった。母や妹はアメ公に殺されるのかと思い、石を川面に投げた。ふと母の姿が、小川のかなたに見えた。仏のような慈愛にあふれた笑顔を見せた。そして私は目覚めた。あの小川は三途の川で、死んだ母があの世から呼んだのだと思った。

『ボストンのマラソンテロ犯　移民歴』

ボストンマラソンに爆弾をしかけた兄弟。ロシアのチェンチェンに育ち、またはるか東国のキスギスに流され、更にアメリカの移民として漂流した。

私は暗然とした。移民の恵まれぬ、うつ屈した生活環境。それは太平洋戦争の末期、新潟の田舎に疎開した私の姿だった。『疎開者』としていじめられ、抑圧されて悩んだ。当時、私は国民学校４年生で、体力も気力も弱く沈黙し、うずくまり、泣いていた。非行にも病気にも走らなかったのは、母の愛情が支えになったからである。

『涼けさや　朝よくねむる　老いの夏』

『庭歩く　妻はのんびり　老いて行き』

この８月、ようやく７９才となり、平均年令に手がとどいた。思えば長く苦しい人生だった。太平洋戦争や病気で、命を失いかかったこと。南氷洋や北太平洋で働き、再三海に転落しかかったこと。最近は腎臓を病み、糖尿も進んでいる。それでもここまで生きられたのは、天の恵みであろうと思う。

昨年９月に隠居し、日々をのんびり暮らす。もはや生死を超越した境地というか、地震も雷も、北鮮のミサイルもこわいと感じない。

娯楽連の老人たちとの会話は味が深く、面白い。その人生で、豊かな経験を積み重ねている。碁を打つのも楽しいが彼らとの会話は、もっと奥深くて、楽しく味わいが深いと、つくづく思う。

囲碁会場の隣に、八王子図書館の北野分室がある。いろいろの本を紐解き、古人の魂に触れて感動する。日本文化の美しさは、囲碁の中にも息づいていると思う。平凡でも至福な老後は、まさに読書や囲碁の中にある。

『図書館の　歴史書歌集文庫本　はるばる来ぬる　人生を思う。』

『助平な　和泉式部が　われを呼び』　　了

◎理事・第２次実行委員合同会議

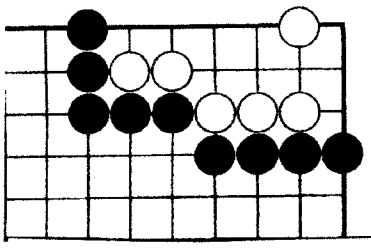
日時　平成２５年6月２７日（木）９：００～１２：００
出席者　理事６名、第２次実行委員５名
議案　１．子ども大会について
　　２．日本棋院支部規約について
　　３．囲碁指導者連絡会について

◎第５回八碁連理事会

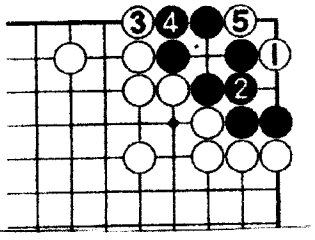
日時　平成２５年7月２７日（土）９：００～１２：００
出席者　理事５名
議案　1．子ども大会の反省
　　２．日本棋院支部について
　　３．経理基準について
　　４．活きいき大会について

詰碁

黒先白死（玄玄碁経）



前回（６月号）解答



初級者向き
①、③、⑤の手順は是非覚えてください。

富士森公園「平和の像」（台町）　富士森公園は八王子市で最も古い公園で１８９６年（明治２９年）の開設になります。公園内は陸上競技場や市民球場、体育館、テニスコート、また富士山信仰の浅間神社があり、春は桜、夏は花火大会の会場として多くの市民に親しまれています。

平成５年、公園の一角に「平和の像」が建てられ、碑文には「八王子市は先の第２次世界大戦において大きな戦禍を被り多くの尊い人命が犠牲になりました。このような悲惨なことが繰り返されないことを願って、平和の象徴としてここに平和の像を建立します。」といった内容のことが書かれています。

編集後記　猛暑が続いています。みなさん、熱中症に負けないよう、体に気をつけて囲碁にはげんでください。